

ベースメイク

施工要領書

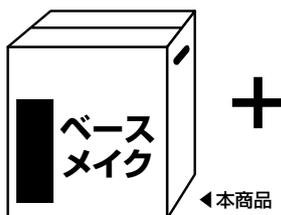
四国化成の製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

末永くご愛用いただくために、この「施工要領書」をよくお読みいただき、正しい施工をお願いします。

●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと、不具合発生の原因となる事があります。

⚠
ご使用の前に

SKセレクトカラー がありますか？



+



別梱包

※必ず所定色番号の
「SKセレクトカラー」(別梱包)
をご用意ください。
※本商品のみでの使用はできません。

おことわり

1. 壁面に強く触れると肌を傷つけることがありますので、ご注意ください。
2. 天然の土や砂等を使用している為、多少のロットによる色違いや経時による退色があります。
3. 地震などによって下地に振動が生じると、壁面にチリ切れやクラックを起こすことがあります。
4. セメントを使用しているため、白華や色むらが出ることがあります。

安全に関する注意事項

- 製品の特性を十分にご理解いただき、正しくかつ安全にご使用いただくために、次の事項につきまして、ご遵守願います。
- 詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

1. 子供の手の届かないところに保管してください。
2. 指定された材料以外を混合しないでください。
3. 作業中は目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じて保護眼鏡、保護マスク、保護手袋を着用してください。
4. 作業中は換気を行ってください。
5. 目に入った場合には、多量の水で洗い、医師の診断を受けてください。
6. 誤って飲み込んだ場合には、ただちに医師の診断を受けてください。
7. 作業後は手を洗い、うがいをしてください。汚れた作業服は洗濯してください。
8. 空容器の処理は、可燃物・不燃物に仕分けして産業廃棄物処理業者に依頼してください。
9. 残さ・残液〔ボンドなど〕は、下水・河川・池・井戸・地下水などを汚染する恐れがある場所には廃棄しないでください。

施工前の注意事項

1. 直射日光の当る場所や湿度の高い場所、屋外、高温(40℃以上)または低温(0℃以下)での製品の保管は避けてください。
2. 施工前には試し塗りをを行い、色や模様のパターンの確認を行ってください。
3. 施工にあたっては次のものをご用意下さい。記載に無い物でも、必要に応じてご用意ください。
 - バケツ等の攪拌用容器(錆がでない、汚れていないもの。)
 - 攪拌機(リシンマゼール等)
 - 砂骨ローラー(粗目もしくは標準目)、ローラーバット
 - 左官道具一式
 - 保護具一式(保護マスク、保護眼鏡、保護手袋、作業服等)

施工上の注意事項

1. 指定された材料以外の混入はしないでください。
2. 気温5℃以下での施工は避けてください。
3. 施工後、硬化するまでに気温が0℃以下になる恐れがある場合は、施工を避けてください。
4. 施工中や硬化するまでの間に降雨や降雪が予想される場合は、施工を避けてください。
5. 乾燥しきらないうちに雨に当てないでください。降雨の恐れがある場合には、必ずブルーシート等で養生を行い、塗りに面に雨がかからないように注意してください。
6. 乾燥時間は一昼夜を目安としますが、気象条件や塗り厚等によっては、それ以上の期間を要することがあります。
7. 夏期、下地が焼けるような高温状態の時は、日除けをしたりして、急激な乾燥を避けてください。また直射日光を避けて作業を行ってください。
8. 施工面以外に材料が付かないよう、周辺部は養生してください。作業中、誤って施工面以外に塗材が付着した場合には早めに洗い流してください。
9. 塗装直後と乾燥後で塗材の色は異なります。乾燥後に本来の色になります。
10. 開封後はその日のうちに使いきり、混練りした材料の長時間放置は避けてください。
11. 使用器具は付着した材料が硬化する前に速やかに水洗いをしてください。

下地に関する注意事項

1. 適応下地

- 住宅基礎コンクリート … 水切りが設置されているもの。

2. 下地の状態について

- 突起物はサンダーやタガネ等で削りとって平滑にしておいてください。
- ゴミや汚れ、油分、カビ、藻等は取り除いておいてください。
- 下地は十分に乾かしておいてください。
- 強度が低い下地は全面補強し、十分な強度にしておいてください。

3. 錆について

- 錆が発生している場合は、錆を除去しておいてください。

4. 白華について

- 白華が発生している場合は、白華を除去しておいてください。

5. ひび割れや欠損について

- ひび割れ部分は市販のエポキシ系や変性シリコン系、樹脂セメント系等の充填材で補修しておいてください。
- 不陸部・ジャンカ・型枠段差・ピンホールは事前に「下地調整モルタル」(別売)で補修しておいてください。

6. その他

- 土留めには施工できません。
- 外構基礎部に施工した場合、塗面の膨れや剥がれ等が発生する場合がありますので施工は避けてください。

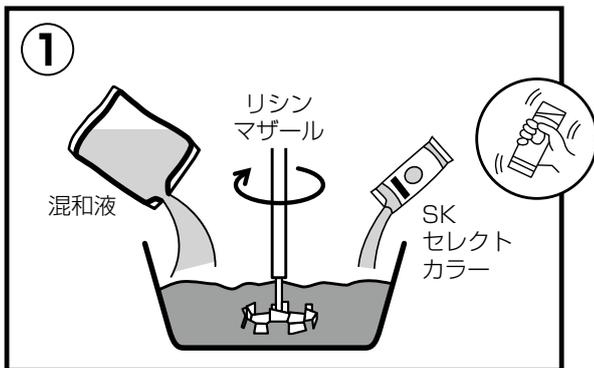
梱包部品一覧表

名称	内容量	数量	
粉体	14,000g/袋	1袋	1ケース
混和液	9,300g/袋	1袋	
施工要領書	—	1部	

名称	内容量	数量
SKセレクトカラー(別売)	150g/袋	1袋

施工手順

■ 練り方

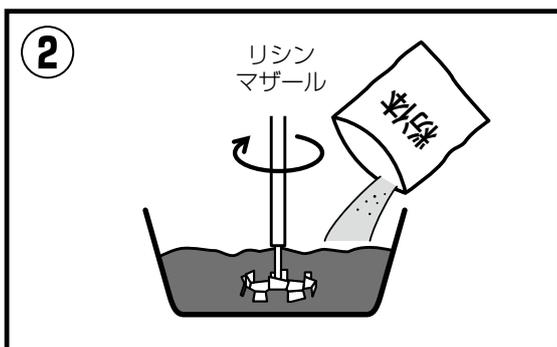


①容器に添付の「混和液」及び「SKセレクトカラー」(別梱包)を加え、リシンマゼールでよくかき混ぜます。

※必ず所定色番号の「SKセレクトカラー」を使用してください。使用しない場合、着色できません。

※「SKセレクトカラー」は袋をよく揉んでから必ず全量使用してください。

※水は絶対に使用しないでください。



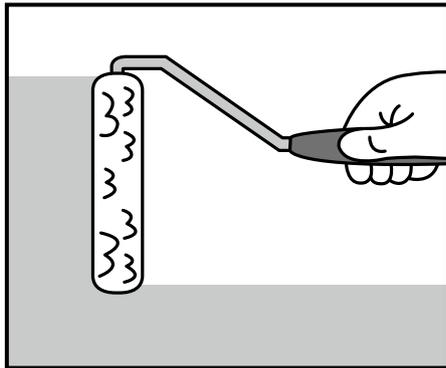
②次に「粉体」全量を徐々に加えながらしっかり練り上げます。

※同一面での塗り継ぎは色ムラや段差の原因となりますので、必要な塗り材は一度に混練りします。

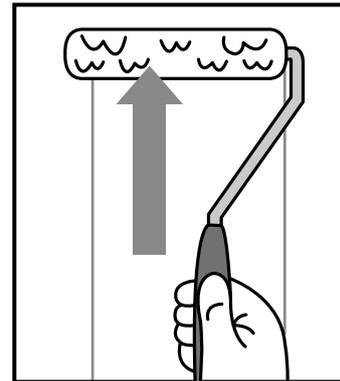
※練り上げた材料は、日陰等の冷暗所に設置し、早めに使い切ってください。

■ 塗り方(約21㎡/セット)

- 市販の「マスチック(砂骨)ローラー(粗目もしくは標準目)」で塗り付けます。(1回塗りを標準とします。)
- 塗布量は1.1kg/㎡(塗り厚1.0mm)が目安です。
 - ※厚塗りをしないでください。特に「マスチック(砂骨)ローラー(粗目)」を使用する場合は、塗布量に注意してください。
 - ※美しい模様付けを行うには塗り厚を均一にしてください。
 - ※薄塗りしますと下地の透けや模様ムラの原因となります。
 - ※塗り継ぎは目地部やコーナーで行います。
 - ※塗り付けと模様付けは二人で分担すると作業がはかどります。
 - ※狭い場所、入り組んだ場所などローラーで塗りにくい箇所は、ハケで塗り付けてください。
 - ※入隅の仕上げは、「砂骨コーナーローラー」が便利です。



- ①「マスチック(砂骨)ローラー(粗目もしくは標準目)」で横方向へ塗布する。
- ※マスチックローラーに塗材を十分に付けてください。
 - ※塗材は均一に塗り広げてください。塗材の付きが少ない箇所は、仕上げの際、透ける恐れがありますのでご注意ください。



- ②すぐに縦方向へ仕上げ塗りをする。
仕上げはローラーを下から上など、同一方向へ転がして仕上げてください。
- ※塗り残しや下地の透けに注意しながら、ていねいに塗り広げてください。

関連商品

- 下地のピンホール・ジャンカなどの穴埋め充填や型枠段差の補修などには、「下地調整モルタル」(別売)をご使用ください。